



ひしのみ

～たくましく かしこく とともに生きる子～

神埼市立千代田中部小学校
(文責) 校長 田中 達

5年生との会食会

例年、卒業を控えた6年生との会食会を実施していましたが、今年度は5年生との会食会も実施しました。

毎日、4～5名の5年生が校長室に入ってきました。初めは緊張して静かに給食を食べ始めますが、そのうちに学級のおもしろい出来事や、校長先生に尋ねたいことなど、楽しく会話が進みました。昼休みの時間になっても会話が終わらないこともありました。

「来年、どんな6年生になりたいかな？」と尋ねると、「やさしく、信頼される6年生になりたい」という頼もしい答えを返す子供もいました。



5年生が学校のリーダーとしての役割を引き継いでくれることを期待しています。

この3連休は山場?

	欠席状況 ()はインフルエンザ感染による欠席者				
	4日 (月)	5日 (火)	6日 (水)	7日 (木)	8日 (金)
1年	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
2年	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)
3年	4(3)	2(1)	1(1)	2(1)	2(1)
4年	5(1)	2(1)	3(1)	4(1)	3(2)
5年	1(0)	1(0)	0(0)	1(1)	1(1)
6年	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	12(6)	6(3)	5(3)	7(3)	7(5)

今週の欠席状況は表のとおりです。

月曜日は先週後半からインフルエンザ感染で欠席していた子供がまだ休んでいる状況でしたが、火曜日からは快復した子供が登校できるようになりました。

また、今週の欠席の特徴は、3年と4年に欠席者が集中していることです。インフルエンザの他にも感染性胃腸炎で欠席している子供もいます。これも感染性の病気ですので、治るまで登校できません。

皆様のご協力のおかげで、今のところは急激に感染が拡大している状況ではありません。しかし、毎週、新しい欠席者がみられますので、感染拡大の可能性は十分にあります。

明日から3連休に入ります。1月の3連休のあとにインフルエンザ感染による欠席者が急増したことから、この連休を「感染の山場」と考えて、予防対策をお願いします。特に、不特定多数の人が集まる場所では十分な対策をお願いします。学級閉鎖0(ゼロ)を目指しましょう。

今年度も校内漢字検定を実施します

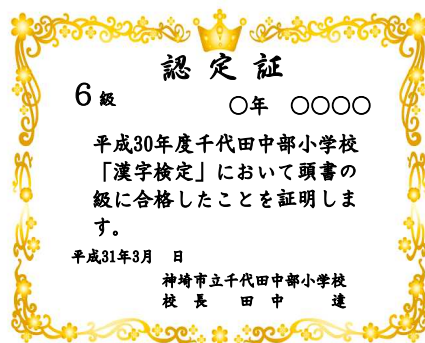
昨年度から取り組んでいる「校内漢字検定」を今年度も実施します。

この検定の目的は、各学年で新しく習った漢字を確実に習得することです。そのため、各学年の廊下には2学期から検定問題と解答を掲示してあります。

検定はそれと同じ問題で実施します。事前に正解がわかっているので、点数を競うのではなく、全員が合格基準以上の成績で合格できることを目指しています。

検定日は各学級で設定しています。本日、実施した学年もあります。合格した児童には認定証を発行します。

- ※6級→1年
- 5級→2年
- 4級→3年
- 3級→4年
- 2級→5年
- 1級→6年



3月 主な行事

- 1日(金) 読書タイム
- 2日(土) 土曜開校日(6年生を送る会)、学級懇談会
- 4日(月) B校時開始(～18日)
- 6日(水) 地区別下校、PTA総務委員会・理事会・新旧引き継ぎ会
- 8日(金) 体育館シート敷き(社会体育等体育館使用不可)
- 11日(月) 卒業証書授与式練習開始(～18日)
- 12日(火) SC来校(午前)
- 13日(水) 地区別下校
- 15日(金) 卒業証書授与式総練習
- 18日(月) 6年生修了、式卒業証書授与式準備(4・5年)
1～3年、6年は給食後下校(予定13:10)
- 19日(火) 第72回卒業証書授与式
- 20日(水) 学級タイム、給食最終日
- 21日(木) 春分の日
- 22日(金) 修了式、次年度教室づくり(5年生)
1～4年下校予定10:30 5年下校予定11:30
- 25日(月) 学年末休業



裏面にスマホトラブルの記事を載せています。お読みください。

サイバー犯罪関連7.3%

小学生のスマホトラブル

スマートフォンを利用する小学4～6年生の7.3%が、フィッシング詐欺や架空請求、不正ログインなどのサイバー犯罪関連のトラブルに遭っていた。東京の情報セキュリティ会社トレンドマイクロが保護者を対象に実施した調査で、こんな結果が出た。調査には618人が回答した。

同社によると、「フィッシング詐欺サイトや偽サイトなどに接続した」と回答した保護者は33.7%にとどまった。

不正アプリ(ウイルス)に感染した
 フィッシング詐欺サイトや偽サイトなどに接続した
 架空請求の被害に遭った
 他人に勝手にログインされた(不正アクセス)
 情報漏えいの被害に遭った
 暴力、薬物、性的描写などを含む有害サイトを閲覧した

スマホ利用による子どものサイバー犯罪関連トラブル

した」「他人に勝手にログインされた」などで、同種のトラブルは保護者の18%も経験。個人情報や画像の無断公開、他人への中傷など、モラルに関するトラブルになると児童の4人に1人に近い23.5%が巻き込まれていた。

子どもへのセキュリティ教育に関しては、保護者の76.7%が実施していたが、会員制交流サイト(SNS)に投稿した写真を巡り、どんなトラブルがあるかよく知っているかと答えた保護者は33.7%にとどまった。

同社の担当者は「保護者がセキュリティの知識を深め、学校だけでなく、家庭でも教育することが重要」としている。

調査は昨年6月、小学4～6年生の子どもを持ち、親子ともにスマホを使っている保護者を対象にネット上で実施した。